



元気っ子

No.222 ながさわ保育園

平成 28 年 2 月号

園 長 市 川 温 予

平成 27 年度の大きな行事「おゆうぎ会」も無事に終わりました。今年もたくさんの方に観にきていただきありがとうございました。

おゆうぎ会を終えた子ども達はまたひとまわり成長したように思います。子ども達、先生達の顔を見ていると達成感が感じられます。

今日（29日）もおゆうぎ会で披露したダンスを踊っている子がいましたが、友達と顔を見合わせてとっても楽しそうにしていました。

手間暇かけて丁寧に子ども達と先生達が創り上げたおゆうぎ会、本当によく頑張ったと思います。子ども達にはいろいろな力があります。2歳児のうさぎ組さんは、繰り返しのせりふですが、「みんなで一緒に声を合わせて言う」、先生の「せーの。」という掛け声をきちんと聞いていなければ一緒に声を合わせて言うことはできません。まだ2歳児なのにみんなが声を合わせて楽しそうに演じていて胸が熱くなりました。かわいかったですね。



異年齢クラスは、普段生活を共にしている仲間同士が助け合い、まだまだ自分のことで精一杯だった子も周りの子に目が向き、仲間を気遣う優しい気持ちが育っていると感じる場面がいくつかありました。そういう場面を見ていると心がふわっと温かくなります。そして「私も頑張ろう」という気持ちになります。“子ども・子ども関係”もそうですが、“子ども・大人関係”もお互いに刺激や得ることも大きいと改めて思いました。

仲間と一緒に取り組み、競い合う楽しさ、出来なかったことが出来るようになる楽しさ、遊びの中で何かになりきる楽しさ、満足感や爽快感。そんな楽しさを子ども達は身体全身で体感したと思います。それはとてもとても大切なことです。

また、いろいろな人から「上手やったね。」「すごいね。かっこよかったよ。」などプラスの言葉をいっぱいかけられることが子ども達の自信や自己肯定感につながっていくのだと思います。ほめられ、認められることによって子どもの心は強く優しく育っていくのだと私は思っています。

これからも毎日の生活の中で仲間と楽しく熱中して遊び、一人ひとりが自己発揮できるような環境を創っていきたいと思います。

インフルエンザに罹る子がでてきました。体調管理には十分に気をつけてください。最善の予防法は周囲の大人も含めた、「手洗いうがい」の励行です。風邪症状のある場合は早めの受診をお勧めいたします。